

第80回教育研究評議会議事概要（案）

日 時 平成23年4月15日（金）13時30分～15時40分
場 所 事務局大会議室
出席者 中村（議長）、長野、檜見、櫻井、生田、柴田、中村、前田、矢倉、鹿島、山崎、菅野、瀧本、山田、石田、大谷、山本、井関、向、大久保、松井、井上、福森、尾島、向田、富田、青木、澤田
欠席者 横山、加納、中西、大竹、笠井
陪席者 脇坂、古川、田中、濱田、小笠原、中村（裕）、三浦、中島、天野、森本、西谷、宮坂

1 前回議事確認

第79回教育研究評議会（3月18日開催）

臨時教育研究評議会（3月20日開催）

臨時教育研究評議会（3月25日開催）

臨時教育研究評議会（4月1日開催）

2 協 議

(1) 発明者に対する特許等補償制度の改善について

議長から、発明に対するインセンティブを高めるため、特許登録時に支払われる登録補償金を廃止し、特許出願時に支払われる出願補償金を新設すること、発明者に一定の実施補償金を支給することを趣旨とする特許等補償制度の改善について説明があった後、研究・国際担当理事から、[資料1-1及び1-2]に基づき詳細説明があり、審議の結果、承認された。その際に、出願補償金の設定根拠、経費削減方法等について意見交換が行われた。

(2) 教育職員の採用・昇任に係る選考手続きに関する運用方針の改正について

議長から、本運用方針の制定経緯、審議状況、改正理由等について説明があった後、教員人事会議議長から、[資料2]に基づき詳細説明があり、審議の結果、承認された。

(3) 名誉教授の称号授与について

総務・人事担当理事から、[資料3・回収資料]に基づき、名誉教授の称号を授与する候補者15名に係る授与理由等の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、議長から、名誉教授称号記授与式等を5月31日（火）に開催する旨の説明があり、理事、関係部局長等に対して列席の要請があった。

(4) 学生の懲戒処分について

教育担当理事から、[資料4・回収資料]に基づき、学生の懲戒処分について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、当該学生が所属する学域長から、本件に関する謝罪があった。

3 報 告 (1)

(1) 人事について

議長から、[資料5]に基づき報告があった。

- (2) 第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果(原案)の変更について

企画評価会議議長から、[資料6]に基づき、第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果が変更となったことについて報告があった。

- (3) 平成23年度学域・大学院入学者数について

教育担当理事から、[資料7]に基づき、平成23年度の学域の入学者数及び編入学者数並びに別科及び大学院の入学者数について報告があった。

- (4) 科学研究費補助金交付内定状況について

研究・国際担当理事から、[資料8]に基づき、平成23年4月1日現在の科学研究費補助金の交付内定状況について報告があった。

- (5) 大学間及び部局間交流協定の締結について

研究・国際担当理事から、[資料9]に基づき、本学とタイ王国プリンスオブソンクラ大学との大学間交流協定及び医薬保健学域薬学系と中華人民共和国瀋陽薬科大学との部局間交流協定の締結について報告があった。

- (6) 国立大学法人金沢大学 平成23年度の重点課題と取組

議長から、[資料10]に基づき、これまでの3年間の運営方針を堅持しつつ、大学の個性化(機能分化)、大学間連携を含む諸事業の推進を中心とした「国立大学法人金沢大学 平成23年度の重点課題と取組」について説明があった。

- (7) 創基150年記念事業について

創基150年記念事業準備委員会委員長から、[資料11-1]に基づき、創基150年記念石碑の建立場所、意匠、紹介文等について報告があった。

引き続き、創基150年記念事業準備委員会委員長から、[資料11-2]に基づき、「アジア5大学学長フォーラム in 金沢」の日時、会場、参加者、テーマ、司会者等について報告があり、全学に対し、協力要請があった。

- (8) 東北地方太平洋沖地震に対する本学の対応について(その3)

危機管理担当理事から、[資料12-1]に基づき、本学が実施した対応策について報告があった。

引き続き、教育担当理事から、[資料12-2]に基づき、被災した学生及びボランティア活動に参加する学生が授業を欠席する場合の特別措置について報告があった。その際に、本学におけるボランティア活動のあり方、4月25日に開催予定の「ボランティア研修会」の位置付け等について、意見交換が行われた。

4 その他

- (1) 基金ニュースについて

同窓会・大学基金担当学長補佐から、机上配付資料に基づき、基金ニュースについて説明があり、引き続き、協力要請があった。

- (2) 本学(学生)に関連した最近の事案について

議長から、本学(学生)に関連した最近の事案について説明があり、このような事案の再発防止のためには、教職員、学生相互の理解を深めることが重要であり、今まで以上にコミュニケーションを深めるよう要請があった。